

ガイダンスセンターの検討について

1. 整備方法

ガイダンスセンターは、上位計画において、公園の前面に広がるエコパークゾーンの水域を一望できる位置に、**民間活力を活用**しながら整備することとしています。

2. 整備時期

民間事業者へのヒアリングを行っているところであり、公園の利用状況も踏まえながら整備時期を検討しています。

3. ガイダンスセンターに必要な機能

必要な機能は上位計画で整理されており、その機能に沿って民間事業者の知恵を借りながら設計、整備を進めていきます。

【 上位計画において整理した必要な機能 】

上位計画	ガイダンスセンターに必要な機能
福岡市野鳥公園 基本構想	○わかりやすい <b>解説の付いた展望室</b> などの施設を導入する
	○人々が <b>ゆっくり</b> と自分のペースで自然環境を満喫できる休憩施設など <b>気軽に利用できる</b> 施設を整備
	○ <b>食や地物などを提供する機能</b> を持たせる
	○ <b>環境情報拠点</b> （野鳥公園およびエコパークゾーンに飛来している野鳥の状況等だけでなく国内外の類似施設の情報、市民活動の取り組み情報などを双方向でやりとりできる機能）の創出
	○ <b>環境教育拠点</b> （リーダー育成講習会などをはじめ、環境学習に関する相談等にも応じられる機能）の創出
	○ <b>市民交流拠点</b> （市民団体の情報交換の場、学術・研究機関との連携、市民が自発的に行う環境保全活動のサポートなどの機能）の創出
アイランドシティ 事業計画	○ <b>環境学習などの拠点</b> となる空間として、エコパークゾーンと一体となった野鳥公園を整備
	○野鳥公園の整備にあたっては、 <b>環境に関する研究・学習機能の導入</b> とあわせて、人と自然の共生を象徴する施設として整備

